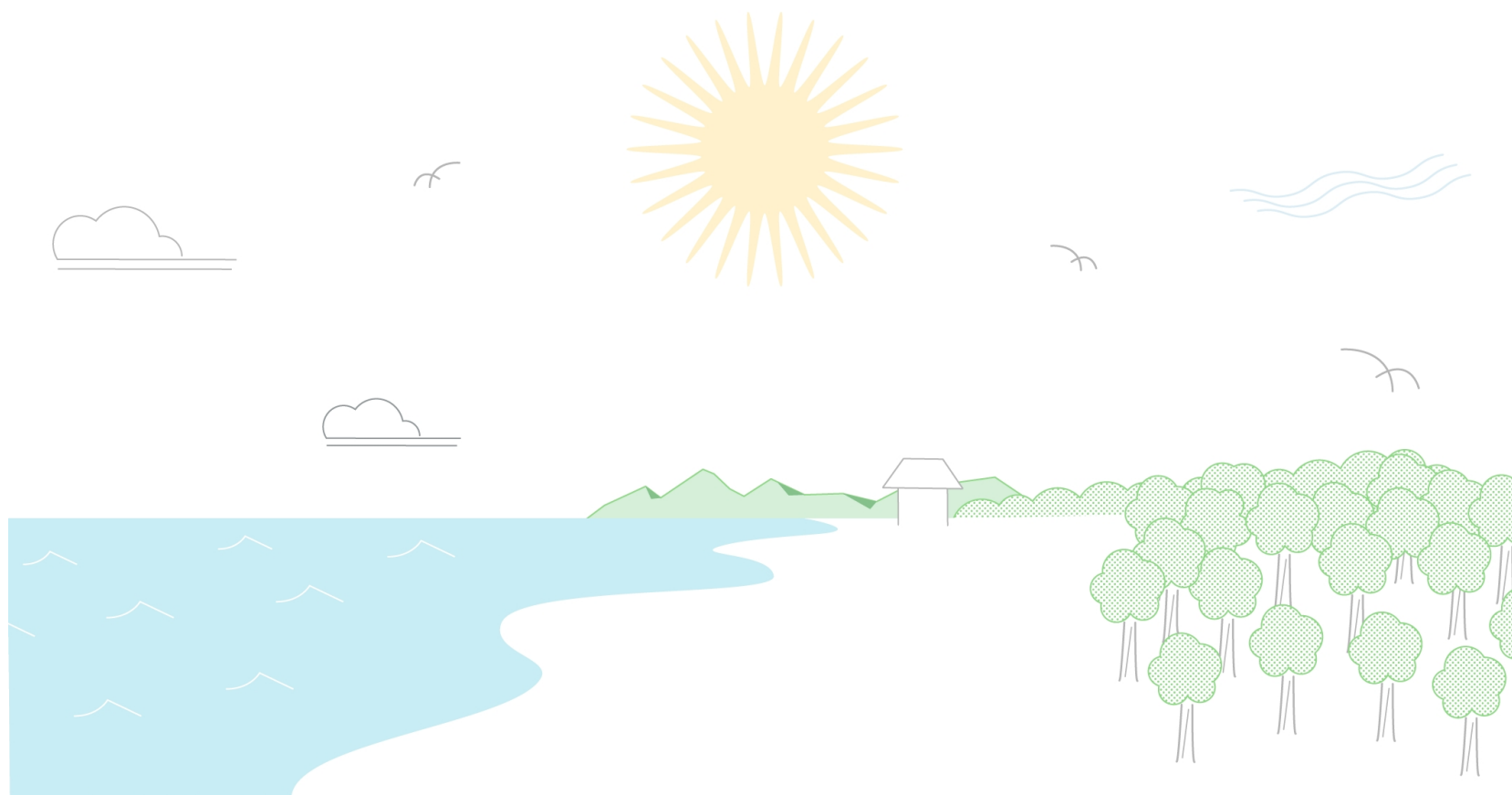


原子力発電のメリット（貢献）



原子力発電は、環境への負担を抑えつつ、効率的に電力を生み出す方法の一つです。発電時に二酸化炭素を排出しないため、カーボンニュートラルの推進や脱炭素社会の実現が求められる現代において、クリーンなエネルギー源（クリーンエネルギー）としての価値が高まっています。

クリーンエネルギーとして代表される太陽光発電や風力発電は、天候により出力が不安定になるため、需給調整など電力システムに組み込むコスト（統合コスト）が高まります。一方で原子力発電は、発電コストと統合コストがともに低いという特長があり、安定的に大容量の電力を長期間にわたって供給できます。

燃料効率の良さも大きなメリットです。ウランはエネルギー密度が高く、少量で膨大な電力を生み出せます。石炭や天然ガスと比べて必要な燃料の量が圧倒的に少ないため、輸送や保管のコストを抑えられます。さらに、燃料価格の変動による影響を受けにくく、長期的に見ても経済的に安定した発電方法といえます。